

1. 評価結果概要表

作成日 平成 19年 10月 2日

【評価実施概要】

事業所番号	270102197		
法人名	株式会社 青森老人福祉プラザ		
事業所名	グループホーム三内丸山		
所在地 (電話番号)	〒038-0031 青森県青森市三内字沢部305番地4 (電話) 017-783-4748		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 8月 22日	評価確定日	平成 19年 10月 2日

【情報提供票より】(平成 19年 8月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 9月 20日
ユニット数	2 ユニット
職員数	利用定員数計 18 人 常勤 8人, 非常勤 8人, 常勤換算 15.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(75,990 円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

(4) 利用者の概要(8月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79 歳	最低	67 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	あおもり協立病院
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街の端に位置し、散歩を楽しみながら野の花を摘んできたりするという自然豊かな環境の中にある。建物は広々として木の香りがする目にも優しい落ち着いたホームである。利用者や職員はお互いに学びあいながら、習字教室や手工芸等の作品作りをしたり、向上しようという意欲を持って頂けるようにという理念に基づいた取り組みがなされている。又、家族が宿泊できる部屋や職員の休憩室等も整備されており、福利厚生が行き届いているという印象を受ける。子供たちから老人会等幅広い年齢層の方々との交流を持っているとの事なので、今後も地域への貢献、地域密着サービスの拠点としての役割を担っていくホームとして期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>月1回ホームの便りとして新聞を作成し、家族に近況報告(金銭関係も含む)を行い、地域に対しても広報活動に取り組んでいる。介護計画については、定期的に見直しが行われており、又、感染症予防等の研修を取り入れた会議で職員間の周知を図り、事故防止についても研修や報告書の整備を通して浸透させている。運営推進会議の開催は、管理者を中心にして積極的に取り組み、改善がなされている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域との関わりの中での、その人らしい生活を理念の中に取り入れて頂きたい。又、介護計画の見直しの基となる、利用者の状況変化に合わせてのアセスメントと3か月に1回の評価(モニタリング)の記録の整備。感染症マニュアルと緊急時の対応マニュアル(事故防止)も各棟に常備して、すぐ職員が対応出来る事が望ましい。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>昨年の評価後、運営推進会議を開催している。地区の町内会長や民生委員と顔馴染みになり、交流と連携が深まる中、行事の協力が得られ、ネプタの運行や納涼祭等の多人数の参加に結びついている。今後も定期的で開催していく事により、評価の内容についての話し合いや取り組みについて意見を出し合っ、相互協力とサービス向上に期待したい。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>月1回、家族に便りを送付してきた事により、面会時に家族の方から近況報告について等の話題が出されたりするので、話しやすい雰囲気になっている。意見の吸い上げや状況報告は面会時に必ず行って不安のないように対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>児童館に出かけて行って子供たちと交流を持ったり、地域の知人、友人は気軽に訪問してくれている。行事等の案内は地区の町内会長に了解を得て掲示板に掲示させて頂いたり、商店、食堂の方には何かあった時に協力して頂ける様をお願いしている。今後も地域との連携を密にして行く為に、継続してのアクションを期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「向上の意欲を持てば、毎日の小さな事からも体験が生まれる」と、日々の暮らしの中に向上心と意欲を持ってもらえるような理念を作り上げている。		地域の中で、どのようにその人らしい生活を継続していくのかという、地域密着型サービスの役割を理念に取り入れる事を期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念については日常的に管理者から話されている。朝夕のミーティング時や会議の中で理念を共有し、日々取り組みをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	年に4回地区の児童館へ訪問し、子ども達や婦人部の方たちと交流を持っている。小学生や地域の老人会の人たち、近所の人たちも気軽に立ち寄ってくれている。又、地区の町内会長や民生委員との交流、連携により、ねぶた運行や納涼祭の行事にも多数参加して頂いているとの事で、地域との交流の輪が広がっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
bs					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>月1回ホームへの便りを家族に送付したり、介護計画の見直しや感染症マニュアルの作成等、昨年度、評価のチェックを受けた内容については、一つ一つ素直に受け止めて積極的に改善している。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>平成18年9月より運営推進会議を開催している。民生委員や町内会長と意見交換や交流が進む中、8月のねぶた祭りの時はコースを変更して当グループホームの敷地内に子ども会のねぶたを運行してくれて、利用者、職員とも大変感激したという。納涼祭の行事にも多数の参加が得られ、他の行事の案内も地区の掲示板に掲示してもらっている。</p>		<p>今後も2カ月に1回の運営推進会議を定期的で開催していく中で、評価の内容についても話し合い、相互理解を深めながら、サービス向上に活かして行く事を期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営上の事や疑問に思っていること、要望等は担当者と顔馴染みになっているので、積極的に電話でいつでも指示を仰ぎ確認をとって、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、権利擁護事業、成年後見制度の利用者はいないが、将来、必要な時に職員がわからないという事のないように、学ぶ機会を持ち支援できる様にしている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>言葉による虐待等もないように職員間での研修を持ったり、マニュアルを作成して、防止に努めている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者、家族に対しては事前に十分な説明をして不安のないように納得して頂いている。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1回、一人一人の近況報告と金銭の出納についてはレシートを貼付して家族に送付して報告している。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。又、家族の面会時には必ず会話をし意見や不満、苦情等申し出しやすいように呼びかけしている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	A棟とB棟の利用者、職員とも馴染みになってもらえるよう、日常的に一緒に行動し、交流しており、利用者へのダメージを防止できるよう配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>採用時、1カ月に1回ホーム内の会議と学習会(報告会)を実施している。又、グループホーム協会の研修やヘルパー受講への参加等研修の機会を確保している。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市内の知り合いのグループホーム8カ所で、処遇困難事例の話し合いや空き情報も共有しながら勉強会や交流を持っている。職員同士のステップアップと利用者のサービス向上を目指して取り組みしている。</p>		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用前の見学から始まり、本人が安心して生活して馴染んでいけるように、本人、家族と相談しながら雰囲気作り等工夫されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の中に習字師範の資格を持っている人がいるので、学びあいながら習字教室を開催している。又、その時の作品をホールや居間等に掲示している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>おいしい物を食べたい、散歩や買い物に行きたい等一人一人の希望を取り入れている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人と家族から意見、要望、希望等をよく聞いてアセスメントし、介護計画を作成している。</p>		<p>個別の状況、経過については細かく記録されているが、個々の計画について3カ月のまとめと評価の記録がないようなので、状況の変化に合わせてのアセスメントと評価の記録の整備を期待したい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3カ月に1回の介護計画の見直しと利用者の状態の変化に応じて、本人、家族と話し合いを持ちながら見直しは行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>1カ月以上の入院に対しても、本人、家族の意向を聞きながら、すぐ退居としないで、職員が出来る範囲で(リハビリ訓練の指導を受けて)ホーム内で実施できる様になっている。又、通院や送迎等必要な支援については柔軟に行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	精神科より訪問看護を継続して受けている人や、本人、家族の希望に応じてかかりつけ医への受診の支援を行っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、緊急性のある利用者においては、かかりつけ医と話し合いの元、状態が急変した時は24時間病院で受け入れていただけるよう事前に了解を取っている。終末期についての取り組みについては将来的に検討して行きたいと考えている。		
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者を人生の先輩として敬う気持ちを大事にして、自尊心を傷つけないような声掛けや対応に努めている。又、個人の記録についてもプライバシー保持に留意して管理されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人一人のペースに合わせて、レクリエーションや作業を進めている。居室で過ごしたい利用者にはそのように見守りと声掛けが行われている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>おいしい物を食べたいという利用者の希望に応じられるようにメニューに取り入れている。食事の準備、片付け等は利用者と職員と一緒にしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴の曜日は決めているが、その日に入りたくないという利用者については状態を見ながら、午後に勧めてみたり、翌日にしたりと臨機応変に入浴できるようにしている。又、シャワー浴と足浴は希望に応じて実施されている。</p>		
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事の準備、片付け、作業や園芸、習字教室、リズム体操等それぞれ役割や楽しみを持って行えるように支援されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩や買い物等、利用者の希望に合わせて実施されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>マニュアルを作成し、それに基づき職員の研修を行っており、身体拘束はしていない。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中施錠はしていない。夜間時、居室の窓を開けたりするのは利用者の自由とし、玄関は戸締りの為施錠している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回は消防署の協力を得て防災訓練を実施している。又、ホームだけの訓練も実施している。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量、水分量については毎日チェックして確保できるように記録している。</p>		<p>当初は栄養士の作成したメニューを参考にしていたが、現在、栄養バランスのチェックをしていないとの事なので、引き続き定期的に栄養士によるチェックを期待したい。</p>
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>インフルエンザの予防接種は毎年実施している。感染症についてのマニュアルを作成して、月1回の会議の中で研修を実施して対応策を確認し、手洗い、うがいを徹底している。</p>		<p>窒息、誤薬、怪我や事故等緊急時に必要なマニュアルも確認し、各棟に常備して緊急時に対応出来るようにしておくことが望まれる。又、研修、会議等の議事録は1回毎に資料を添えて整理しておくことを期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34	78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下、トイレ等広いスペースをとってあり、居間もゆったりとした雰囲気をつくろげる。廊下の飾りも利用者と職員の手作りの作品が掲示され、生活感のある居心地のよい共有空間となっている。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は利用者個々が筆筒や衣装ケース、テーブル、位牌、写真等持参して、それぞれ個性のあるものとなり、居心地良く過ごされている。		

 は、重点項目。